



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年1月31日

上場会社名 株式会社ホットマン 上場取引所 東
コード番号 3190 URL <http://www.yg-hotman.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 伊藤 信幸
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役兼管理本部長 (氏名) 柳田 聡 TEL 022-243-5091
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の業績（2024年4月1日～2024年12月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	17,361	3.7	992	33.5	1,046	32.2	693	27.6
2024年3月期第3四半期	16,746	△2.3	743	△4.0	791	△4.0	543	3.7

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	98.34	—
2024年3月期第3四半期	77.09	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第3四半期	17,892	7,734	43.2	1,096.30
2024年3月期	15,886	7,109	44.8	1,007.62

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 7,734百万円 2024年3月期 7,109百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2025年3月期	—	0.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年3月期の業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,100	0.5	300	4.3	368	3.7	210	2.5	29.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期3Q	7,275,500株	2024年3月期	7,275,500株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	220,000株	2024年3月期	220,000株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期3Q	7,055,500株	2024年3月期3Q	7,055,500株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期損益計算書に関する注記)	6
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6
(セグメント情報等の注記)	7

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期累計期間における我が国の経済環境は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果により景気は緩やかな回復基調が続いている一方、インフレの継続や円安進行による消費者物価上昇の影響は大きく、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社におきましても、人流の回復はみられるものの、仕入価格の高騰や人件費の上昇等コストの高止まりが続いており、また長引く物価高による消費者マインドの停滞も懸念され、厳しい状況が続いております。

そのような環境の中、会社方針に『一意専心(決めた目標のために、迷わず心を集中させる)』を掲げました。消費者の節約志向が高まる中、お客様一人ひとりにご満足いただき再来店していただくため、アフターコロナの今だからこそ対面接客に注力することで「集客力の向上」「顧客の確保」に努めて参りました。

2024年5月に福島県南相馬市に「シャトレゼ南相馬店」(グランドオープンは同年6月)を新規出店し、同一店舗内に「ダイソー南相馬原町店」(旧店舗名ダイソー原町店)を移転オープン致しました。同年6月には茨城県高萩市に「イエローハット高萩インター店」(旧店舗名イエローハット高萩店)を新築移転オープンし、宮城県角田市に「シャトレゼ角田店」(グランドオープンは同年7月)を新規出店致しました。同年7月に秋田県秋田市にある「アップガレージ秋田店」の運営を㈱アップガレージグループに譲渡し、宮城県大崎市に「アップガレージ宮城古川店」を新規出店致しました。同年10月に宮城県仙台市宮城野区にある「TSUTAYAヨークタウン新田東店」を、同年11月岩手県奥州市にある「TSUTAYA水沢店」をそれぞれ退店しております。

また、貴金属やブランド品等の買取専門店「買取大吉」を展開する㈱エンパワーと新たにフランチャイズ契約を締結し、同年12月宮城県仙台市若林区にあるTSUTAYA仙台荒井店内に当社1号店となる「買取大吉TSUTAYA仙台荒井店」(セグメントは「その他」)を新規出店致しました。

当第3四半期会計期間末の店舗数は、イエローハットが90店舗、TSUTAYAが6店舗(前年同期間比2店舗減)、アップガレージが8店舗、カーセブンが3店舗、ダイソーが6店舗、宝くじ売場が5店舗、コメダ珈琲店が1店舗、シャトレゼが4店舗(前年同期間比2店舗増)買取大吉が1店舗(前年同期間比1店舗増)の合計124店舗(前年同期間比1店舗増)となっております。

この結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高は17,361百万円となり、前年同期間比615百万円(前年同期間比3.7%増)の増収となっております。経常利益につきましては1,046百万円となり、前年同期間比255百万円(前年同期間比32.2%増)の増益となりました。四半期純利益は693百万円となり、前年同期間比149百万円(前年同期間比27.6%増)の増益となりました。増収増益の要因は主として、イエローハット事業及びアップガレージ事業において、記録的な暖冬の影響を受けた前期と異なり、平年並みの気温や降雪量が冬季用品の需要を喚起したことによるものとなっております。

セグメント別の業績は次の通りであります。

[イエローハット]

当社の主たる事業であるイエローハット事業におきましては、2024年6月に茨城県高萩市に「イエローハット高萩インター店」(旧店舗名イエローハット高萩店)を新築移転オープン致しました。主に対面接客による「タイヤの拡販」及び「車検の拡大」に注力して参りました。記録的な暖冬の影響を受けた前期と異なり、平年並みの気温や降雪量が冬季用品の需要を喚起したことにより、当第3四半期累計期間の売上高は好調に推移致しました。

この結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高13,599百万円(前年同期間比4.2%増)、セグメント利益(営業利益)は1,190百万円(前年同期間比25.5%増)となっております。

[TSUTAYA]

TSUTAYA事業におきましては、2024年10月に宮城県仙台市宮城野区にある「TSUTAYAヨークタウン新田東店」を、同年11月岩手県奥州市にある「TSUTAYA水沢店」をそれぞれ退店しております。書籍、文具、コスメ等雑貨の商品展開を行い販売に注力したものの、2店舗退店の影響もあり、当第3四半期累計期間の売上高は低調に推移致しました。

この結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高1,136百万円(前年同期間比11.2%減)、セグメント損失(営業損失)は53百万円(前年同期間は57百万円のセグメント損失(営業損失))となっております。

[アップガレージ]

アップガレージ事業におきましては、2024年7月に秋田県秋田市にある「アップガレージ秋田店」を㈱アップガレージグループに譲渡し、宮城県大崎市に「アップガレージ宮城古川店」を新規出店致しました。イエローハット事業同様、記録的な暖冬の影響を受けた前期と異なり、平年並みの気温や降雪量が冬季用品の需要を喚起したことにより、当第3四半期累計期間の売上高は好調に推移致しました。

この結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高894百万円(前年同期間比2.1%増)、セグメント利益(営業利益)は108百万円(前年同期間比8.4%増)となっております。

[その他]

その他の事業におきましては、2024年5月に福島県南相馬市に「シャトレーゼ南相馬店」（グランドオープンは同年6月）を新規出店し、同年6月同一店舗内に「ダイソー南相馬原町店」（旧店舗名ダイソー原町店）を移転オープン及び宮城県角田市に「シャトレーゼ角田店」（グランドオープンは7月）を新規出店致しました。

また、貴金属やブランド品等の買取専門店「買取大吉」を展開する(株)エンパワーと新たにフランチャイズ契約を締結し、同年12月宮城県仙台市若林区にあるTSUTAYA仙台荒井店内に当社1号店となる「買取大吉TSUTAYA仙台荒井店」（セグメントは「その他」）を新規出店致しました。

シャトレーゼ事業は、売上高は好調であったものの新規出店による費用の増加もあり、増収減益となっております。

ダイソー事業、コマダ事業、保険事業及び不動産賃貸事業におきましては、売上高は好調に推移致しました。

カーセブン事業及び宝くじ事業におきましては、売上高は低調に推移致しました。

この結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高1,731百万円（前年同期間比12.4%増）、セグメント利益（営業利益）は81百万円（前年同期間比17.0%増）となっております。

(2) 当四半期の財政状態の概況

① 資産

当第3四半期会計期間末における流動資産の残高は1,726百万円増加し、9,217百万円（前事業年度末7,491百万円）となっております。これは主に、現金及び預金が1,472百万円及び売掛金が228百万円増加したことによるものであります。

また、固定資産の残高は280百万円増加し、8,674百万円（前事業年度末8,394百万円）となっております。これは主に、投資その他の資産が100百万円減少したものの、度重なる新規出店等により有形固定資産が378百万円増加したことによるものであります。

この結果、資産合計残高は17,892百万円（前事業年度末15,886百万円）となっております。

② 負債

当第3四半期会計期間末における流動負債の残高は1,073百万円増加し、7,198百万円（前事業年度末6,125百万円）となっております。これは主に、短期借入金が800百万円、買掛金が180百万円及び1年内返済予定の長期借入金が108百万円増加したことによるものであります。

また、当第3四半期会計期間末における固定負債の残高は307百万円増加し、2,958百万円（前事業年度末2,651百万円）となっております。これは主に、長期借入金が299百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計残高は10,157百万円（前事業年度末8,777百万円）となっております。

③ 純資産

当第3四半期会計期間末における純資産の残高は625百万円増加し、7,734百万円（前事業年度末7,109百万円）となっております。これは主に、四半期純利益を693百万円計上したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年5月10日の「2024年3月期 決算短信」で公表致しました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	894,793	2,367,003
売掛金	690,920	919,348
商品	5,480,448	5,494,626
貯蔵品	2,272	4,395
その他	423,236	432,320
流動資産合計	7,491,671	9,217,693
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,552,660	3,109,421
土地	2,498,358	2,498,358
その他（純額）	1,067,834	889,987
有形固定資産合計	6,118,853	6,497,767
無形固定資産	20,219	21,731
投資その他の資産	2,255,541	2,155,440
固定資産合計	8,394,614	8,674,938
資産合計	15,886,285	17,892,632
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,034,034	1,214,186
短期借入金	3,250,000	4,050,000
1年内返済予定の長期借入金	366,654	474,988
未払法人税等	162,948	234,863
賞与引当金	93,333	14,166
契約負債	415,222	395,666
その他	803,424	814,985
流動負債合計	6,125,616	7,198,855
固定負債		
長期借入金	641,698	940,873
退職給付引当金	1,609,661	1,614,358
役員退職慰労引当金	166,108	169,312
資産除去債務	183,724	184,994
その他	50,222	49,322
固定負債合計	2,651,414	2,958,860
負債合計	8,777,031	10,157,715
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,910,645	1,910,645
資本剰余金	500,645	500,645
利益剰余金	4,725,551	5,348,811
自己株式	△108,380	△108,380
株主資本合計	7,028,461	7,651,721
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	80,791	83,195
評価・換算差額等合計	80,791	83,195
純資産合計	7,109,253	7,734,917
負債純資産合計	15,886,285	17,892,632

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	16,746,640	17,361,868
売上原価	9,227,449	9,503,267
売上総利益	7,519,191	7,858,600
販売費及び一般管理費	6,775,410	6,865,788
営業利益	743,780	992,811
営業外収益		
受取配当金	12,171	8,494
受取手数料	15,951	15,209
産業廃棄物収入	14,200	17,066
その他	31,001	36,854
営業外収益合計	73,324	77,624
営業外費用		
支払利息	14,494	19,010
その他	10,961	4,731
営業外費用合計	25,455	23,742
経常利益	791,649	1,046,694
特別利益		
固定資産売却益	49	30
賃貸借契約解約益	46,576	—
特別利益合計	46,626	30
特別損失		
固定資産除却損	5,950	136
特別損失合計	5,950	136
税引前四半期純利益	832,326	1,046,588
法人税、住民税及び事業税	186,057	222,076
法人税等調整額	102,376	130,697
法人税等合計	288,433	352,773
四半期純利益	543,893	693,814

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期損益計算書に関する注記)

※ 当社の主たる事業のイエローハット事業において、主力商品であるスタッドレスタイヤの販売時期が11月から12月に集中するため、通常第3四半期会計期間の売上高は、他の四半期会計期間の売上高と比べ著しく高くなっております。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次の通りであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	268,089千円	312,137千円

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期損益 計算書計上 額 (注) 3
	イエロー ハット	TSUTAYA	アップ ガレージ	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	13,051,161	1,279,783	875,814	15,206,759	1,539,881	16,746,640	—	16,746,640
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	17,076	1,196	307	18,581	17,907	36,488	△36,488	—
計	13,068,238	1,280,979	876,122	15,225,340	1,557,788	16,783,129	△36,488	16,746,640
セグメント利益 又は損失 (△)	948,585	△57,050	100,509	992,045	70,038	1,062,083	△318,302	743,780

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ダイソー事業、コマダ事業、シャトレーゼ事業及び保険収入等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△318,302千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期損益 計算書計上 額 (注) 3
	イエロー ハット	TSUTAYA	アップ ガレージ	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	13,599,870	1,136,439	894,491	15,630,802	1,731,066	17,361,868	—	17,361,868
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	18,669	1,238	674	20,582	16,025	36,607	△36,607	—
計	13,618,539	1,137,678	895,166	15,651,384	1,747,091	17,398,475	△36,607	17,361,868
セグメント利益 又は損失 (△)	1,190,115	△53,705	108,903	1,245,312	81,930	1,327,243	△334,431	992,811

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ダイソー事業、コマダ事業、シャトレーゼ事業、買取大吉事業及び保険収入等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△334,431千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。